

Q11 どんな性別であっても、誰もが自分らしく生きることができる社会の実現のために、高知市に期待することはどんなことですか。(自由記載)

- 特に無し
- 差別をしないこと
- 性別による固定の役割を無くす啓発運動
- 男女年齢関係ない社会の実現を目指してほしい
- 誰でも相談できる窓口
- ハラスメントの撲滅とこどもがいても働けるようなサポート
- 個性を認めてあげる
- 高齢者へ繰り返し啓蒙
- 子育て支援
- 公開の場での議論と、その結果をより積極的に発信していくとともに、男女共同参画が今まさに仕事や生活で困っている人たちに対しても、その人たちの抱えている課題と同等程度の重要課題だということを説明・説得していく必要があると思います。
- 夫婦別姓
- パートナーシップ制度導入は誇らしいです。一步進んだ同性婚を法的に一部からでも認める制度を作るのは困難でしょうか。UIターンをいくら謳っても、賃金の低さもあると思いますが、年末年始や冠婚葬祭や企業で感じる田舎特有の偏ったジェンダー感覚に触れたくないから帰省や地元に戻らない若者は確実に存在すると思います。まず公共セクターしかできない法整備で自分らしく生きる社会に対応していくことができれば、民間にもじわじわ広がっていくのではないかと思います。
- 税金の軽減
- 雇用の安定、保育園等の待機なし
- 女性を必要以上に優遇しない
- 積極的なジェンダーレスのイベントを開催
- LGBTも男女共同参画も素晴らしい事ですが、それを利用し悪用する人間もいる事を忘れないで下さい。左派の方がLGBT法案など騒いでますが、こんな法案を通してしまえば銭湯やサウナなど女湯に卑猥目当ての男性が入浴して来ても『体は男でも心は女性です』と言われれば確認する術もなく逮捕する事さえ困難になり将来、温泉などの施設はなくなってしまうでしょう。この様な事がない様をお願いします。
- 団塊の世代交代が済んだら進む気がする程度で期待することは出来ない
- アニメや漫画を通して理解、推進活動をする
- 啓蒙活動をしてほしい
- あらゆるハラスメントの根絶
- 従来の考え方を一新する位の方向性を確立することです。
- ない
- 声の大きい人の意見を聞かない
- 小中学校教育に力を入れてほしい。統廃合して、先生に余裕を持たせる等、少子化、働き方改革に対応していかないと、今現在の子どもの教育が、全くと言っていいほど行き届いていないです。父兄は学校には、求めることが間違っているような風潮を感じます。それならそれで、塾や郊外学習の方面に力を入れる等、してほしいです。親がそこまで手をかけられれば良いですが、手をかけられない、気づかない親ならば、子どもはどんどん低レベルになっていくと思います。
- 地域おこし
- 雇用の確保や年収の増加、男女平等という理念無しでの能力査定の一辺りの周知。男女比の撤廃(女性を必ず入れるべきといった極端な意見)。
- (全国の自治体でも少しでてきたと思いますが) 同性婚を認めてあげたらいいと思います。
- 学校の改革
- 生きたお金の使い方
- うちの子が通ってる中学校は、ジェンダーレスで女の子でもスラックスが履けるようになりましたが、一般的な会社ではまだ、スカートの浸透が多いように感じます。その辺りも個人が選べるようになればいいのかな？なんて、思います。階段や冬場は、スラックスがいいななんて思った社会人時代を過ごしてきたもので。このジェンダーレスという言葉がいろんな意味で浸透していけばいいなと思います。
- いろんな情報が幅広く伝わるような発信力
- 情報発信
- 女性の幹部登用
- 「どんな性別であっても」と書かれているのに、「男女」共同参画と男女に限られてしまうようなワードが少し引かかりました。
- 男女区別なく働ける職場の提供
- 価値観の多様性に基づいたセミナー等を定期的に開催するなどして相互理解を深めてほしいです。
- メディア等での広報活動
- 性による結婚差別を解消するための法律改正を国に働きかける
- 採用や昇進時に性を問わないような仕組みを作る

- 誰もが住みやすい街
- 女性の管理職への積極登用や同性婚を認めること
- よそがやっていないことはしないという姿勢の改革
- 制服、体操服などの服装の自由
- 慣習やしきたりを突破らってみる。
- 県内の会社の支援と就職の魅力を伝えて頂きたいです。子供の友達が最初は県外就職を考えてたのですが県内の就職する所が初めて女性を受け入れてくれるということで新たに女子トイレを作ってくれたり歓迎してくれたので県内就職にしたそうなので。
- 市職員それぞれが多様な性を尊重し理解すること
- まずは行政が手本を示し、役職や階級にしばられずに発言や要求がストレスなくできるようになればよい。男性の育児休暇取得が進んでいるが、やはり育児は女性が主体となるものというイメージが強い。社会全体が優しくなってほしい。
- 分からない
- 区別しない
- イベントなどをして広めて欲しいです
- まずは挨拶から。老若男女関係なく挨拶ができるという基本的なことができてこそ、次の段階へいけると思う。
- コミュニティの場を作るなど。
- 誰もが自分らしく生きる社会とは、世界ではどうなのか？日本ではどうなのか？高齢者から若年層まで、幅広く、理解を求める取り組みを市から県から全国へ、その取り組みをしていることを知ってもらうこと等。
- 高知市に期待することは、時代が変わるので、臨機応変に対応してくれることに期待します。
- 性別での制限をなくすためのワークショップや学びの場を提供する
- 高知市はとても閉鎖的なのもっと広い視野で多くのことを考えて欲しい。
- 平等にみる
- 人として見れる意識改革へのイベントなど
- 誰でも入れるトイレを増やしてほしい
- 多様な性の尊重。同性カップルであっても夫婦と同等の配偶者として認める。
- ジェンダー平等という事が少し過熱しているようにも思います。仕事において男性だから、女性だからというのではなく個人の希望や能力において就きたい仕事ができるのは大切だとは思いますが、個人的には好みの問題？かもしれませんが受付やコールセンターは女性の方が話しやすいと思ってしまいます。こういう意識を変えるというのはなかなか難しいです。理屈としては理解していても好みの問題はどうしようもないと思うので、そのあたりの対応というかバランスを市政でも考えて頂けたらいいなと思います。
- 男性も参加しやすい子育て講座や相談会
- 多様性
- 管理職の半分を女性にする
- 各年齢層の人々（可能であれば♂♀同数が望ましい）の忌憚のない意見を聴取すること。
- 特にない
- 私が感じたのは、今制服もジェンダーレス仕様になり、女子はスカートとパンツを選べるようになりましたが、男子はというとあまり聞きません。もしかしたらまだ男子の方が声を上げずらさがあるのかもしれない。
- はちきんという言葉は男女差別にならないのかと思いましたが、そういう細かなことを言い出してもしっかりと反論できるようにしておいて欲しい
- 啓蒙活動
- 小学、中学、高校での教員の質の向上。自分らしく生きる力を養えるように教えて欲しい。子どもにとって親以外で接する時間が長いのは教師なので、影響は高いと思います。
- 男女の給与格差を無くす。
- 広報活動
- 市街地の区画整理
- 理解を深めるイベント開催
- 相談、問い合わせに応じてくれる場所や、グループの座談会など孤立を避けるための場所が気軽に利用できる環境であると良いと思います
- 高知市議会に女性の議員がもっと増えてほしい。男性職員の育児休暇取得率をアップ。保育園の男性職員を増やしてほしい。（子どもの世話を女性がするイメージを変えてほしい）
- 子育てしやすい所
- 分からない
- 性別や職種に関係なく望む人全てが産休・育休を取得でき、かつ職場復帰ができるようにしてほしい。
- ひとり親シングルマザーの住宅扶助
- 育児施策の充実
- 広報のイラストや写真で典型的な性別の人物を表現しないこと。
- 女性役員割合のアップ
- 高知市立学校の校則見直し等（男女別の制服・頭髪・整列など）。教諭に対する人権学習。

- 困ったときや苦しいときに相談できる場所を増やす
- 公共の施設の整備
- 男女平等という知識を若者から上の世代まで学習する機会を設ける
- 他に無い発想
- 賃金値上げ。市民税の値下げ。地域イベント。
- 色々な差別をなくす
- 市議会議員の大幅な定員増
- 男女平等
- 高知市の決定権のあるポストへ女性を登用すること。
- 女性就職率アップ
- ない
- 市政上層部（中高年層）の意識改革
- 高知市でクォータ制を取り入れてほしい！管理職や責任者にクォータ制で、男女比を均等にする
- 個人の意思の尊重多様性の時代で
- トップの交代
- 男女平等の推進
- ない
- 高知市役所内での古臭い考えややり方を根本的に直したらいいと思う
- 公費での女性就労支援対策
- ソーレの前に、大きく看板を見ますが、それ以外では見かけません。
- 多様性理解の推進イベント
- すべての性の人に寄り添おうとする高知市の「にじいろのまち」にとっても期待しています。
- 多様性を受け入れる教育環境、またはカリキュラム
- イベント参加型等募集の時に、性別年齢不問等、気軽に申込みやすいような記載をしてほしい
- まずは、講演会や勉強会の開催
- 自然豊か、食べ物が美味しい、県民性も全国それから世界へアピール出来ればいいなど期待してま
す。身近で考えるとしたら、新聞やあかるいまち等で意識改革やアンケートなどを繰り返し浸透させ
てもらおうとか期待します！
- 講演やセミナーの開催 まだまだ詳しく知らない人が沢山いると思うので情報の発信など
- 男女で分けることなく出来る環境
- 就職活動時などで、性別が必要な仕事もあるとは思いますが、そうでない場合、性別より能力を見て判
断されるようになってほしい。
- 差別利権を無くして下さい
- 公共書類に記載する際の性別欄の廃止、もしくは「必須」を「任意」に。
- 働ける場所
- そういう社会を作ること、いちいち性別の問題にしないこと
- 親身に相談出来る場
- 他の都道府県が取り入れた何か最新の取り組みにすぐに反応して高知でも取り入れてほしい。
- 住み良い地域、みんなに優しい地域
- 意識改革というよりも、もっと若い世代に根本から浸透するようや取り組み。
- 自由であればそれで良い、それぞれが相手を尊重すればそれで良い話
- どんな人達でも働き易い職場を沢山作って欲しい。
- 差別をなくす
- 偏見の目を持たず、働ける場所があること。
- 希望する者の声はしっかり拾ってほしい
- 世代均等な社会政策
- 性別にとらわれない考え方を広める活動を行ってほしい。
- そっとしておいてほしい。
- 多様性についての教育、パートナーシップ制度の周知
- 1. 市長はじめ全職員が差別のない社会のために率先して取り組むこと。 2. 高知市の広報紙に繰
り返し掲載することや、テレビ番組などで市民に周知を図ること。 3. 「だれも取り残さない」と
いうSDGsの理念を市民に徹底させること。
- 女性議員の増加
- 教育の充実
- 学校も職場もジェンダーレス制服の推進（ズボン、スカートどっちでも組合せ可能な）
- 市政やサポートしている人は男性が多い気がするので、そこから変えて見せてほしい。
- 仕事の多様性と働きやすい環境
- 差別や偏見がなくなる事を推し進める。
- 学生服などの自由化（スラックスやスカートを自由に選べるように）
- 中学校、高校のジェンダーレス制服の拡大
- 踏み出した人が迷った時に相談できる場所作り
- 働く場を広げる工夫が必要

- 子供が最初に関わる社会である保育園(等)の殆どが女性社会となっている。男性保育士数を増やし、様々な視点から保育を見直す事で 多様な保育サービスの充実を図る事ができるのではないか。しかし保育士の給与は労働に見合って無く離職者が多いのが現状である。男女関係なく働ける場となるよう給与・勤務時間等の待遇改善を期待する。
- 非正規公務員の雇い止めが全国的に問題になっています。地方は働く場所が少なく、非正規で働いている人も多いです。非正規の人でも勤務態度に問題がなく、本人が希望すれば雇い止めはやめるべきです。非正規の待遇改善も必要です。官が率先して非正規雇用の待遇改善をし、民間に波及効果を。安定的に働ける場所があつてこそ、自分らしく生きることが出来るのです。高知は高齢化率が全国的に高く、一人暮らしの人も多い。高齢になっても生活出来る支援が行政には求められています。
- 男女共同参画課が、市民にとって何をしてくれる課なのかわかりにくい